



主題名

みんなで、解決!

教材名

旅館の部屋は?

人権学習の視点

普遍的な視点「コミュニケーション能力」

主題・教材について

中学年での活動を基に、論理的な思考力が付いてくる高学年に、課題を解決するために話し合う活動を行うことで、お互いうまく伝え合うコミュニケーションの技術を身に付けさせたい。また、自分一人の言いたいことや考えを述べるだけでは、課題が解決できないことや、グループ内でのリーダーシップなどの役割にも気付かせ、一人一人が大切であることも、合わせて感じさせたい。

ねらい

コミュニケーションを通して、集団にきちんと伝えようとする力や、相手の伝えたいことを理解する力を身に付けさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○コミュニケーションをとることと協力することについて学習することを明確にする。	
	<b>みんなで協力して、課題を解決しよう</b>				
展					
	<b>「旅館の部屋は?」ゲームのルールを知ろう</b>				
	○「旅館の部屋は?」のルールを説明する。	一斉	○「旅館の部屋は?」のルールを知る。  〈ルール〉 ●情報カードは、他の人に見せられません。 ●情報カードは、言葉だけで伝えることができます。 ●情報カードは、交換できません。 ●ワークシートには、部屋の名前や人を書くことができますが、情報カードをそのまま書くことはできません。 ●他のグループとは、話せません。	○4~6人のグループで行わせる。	資料 「旅館の部屋は?」
開					
	<b>「旅館の部屋は?」のゲームを始めよう</b>				
	○ゲームの準備物を配布し、ゲームを始めさせる。 <ゲームの時間は、20~30分程度>	グループ	○情報カードを裏返しのまま、すべてのカードを全員に配る。 ○始めの合図で、自分のヒントカードの内容を言葉のみグループのみんなに伝え、ワークシートにまとめていく。	○ルール違反のないように、ルールはしっかり守れるようにする。 ○情報カードの中に質問も入っていることを伝える。 ○グループの様子をよく観察して、振り返りに役立てるようにする。 ○できたグループには、確認をするように促す。 ○できていなくても終了させる。 ○課題ができてなくても、コミュニケーションと協力ができていることをほめる。	情報カード ワークシート①
まとめ					
	<b>自分やグループの行動を振り返ろう</b>				
	○<ふり返しシート>を配布し、記入させる。 ○本時のまとめをする。	個別 一斉	○<ふり返しシート>で課題を振り返る。 ○教師の話を聞く。	○自分のコミュニケーションの仕方やグループの様子に気付かせる。 ○グループの中での良かった発言を取り上げ、集団でのコミュニケーションの大切さに気付かせる。	ふり返しシート (ワークシート②)

評価

コミュニケーションを通して、集団にきちんと伝えようとする力や、相手の伝えたいことを理解する力が身に付いたか。

